



平成23年11月4日

各位

会社名  
代表者株式会社 葵プロモーション  
代表取締役社長 藤原 次彦  
(コード番号9607 東証第一部)  
専務取締役 八重樫 悟  
TEL03(3779)8000

問合せ先

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成23年5月16日に公表した業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

## 1. 連結業績予想の修正

(1)平成24年3月期第2四半期累計期間の業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益(円)
前回発表予想(A)	8,220	608	567	213	18.02
今回修正予想(B)	9,091	191	177	72	6.10
増減額(B-A)	871	△417	△390	△141	—
増減率	10.6	△68.6	△68.8	△66.2	—
(ご参考)前期実績(平成23年3月期第2四半期)	7,110	494	359	200	16.95

(2)平成24年3月期通期の業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益(円)
前回発表予想(A)	17,890	1,330	1,240	470	39.63
今回修正予想(B)	19,500	1,350	1,320	580	48.91
増減額(B-A)	1,610	20	80	110	—
増減率	9.0	1.5	6.5	23.4	—
(ご参考)前期実績(平成23年3月期)	15,989	1,479	951	360	30.43

## 2. 個別業績予想の修正

(1)平成24年3月期第2四半期累計期間の業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益(円)
前回発表予想(A)	5,049	419	196	16.60
今回修正予想(B)	5,226	32	0	0.04
増減額(B-A)	177	△387	△196	—
増減率	3.5	△92.4	△100.0	—
(ご参考)前期実績(平成23年3月期第2四半期)	4,896	343	45	3.82

(2)平成24年3月期通期の業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益(円)
前回発表予想(A)	11,000	910	430	36.26
今回修正予想(B)	12,500	1,000	500	42.16
増減額(B-A)	1,500	90	70	—
増減率	13.6	9.9	16.3	—
(ご参考)前期実績(平成23年3月期)	10,823	994	107	9.03

### 3. 業績予想修正の理由

#### (1) 連結業績予想

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、3月に発生した東日本大震災後に急速に落ち込みましたが、サプライチェーンの復旧に伴い持ち直しの動きが続いています。一方、欧州における財政不安の影響による金融市場、株式市場の停滞などマイナス要因もあり、不透明感が強い状況にあります。

わが国経済の動きを反映し、広告需要も厳しい状況が続きましたが、足元は回復の兆しも見えてきております。

こうした中、グループ全社を挙げた営業体制強化の取り組みの継続により、主力であるCM映像制作関連売上が好調なことに加え、多様化を続けるメディアに対して、全方位でクライアントのニーズに対応すべく、Webコミュニケーションコンサルティング事業ではパイオニア的存在である株式会社ビジネス・アーキテクツと、広告セールスプロモーション分野のクリエイティブで多くの実績を有する株式会社ティー・ケー・オーを、本年7月1日に子会社化しました。

加えて、アジアに進出する日系企業の現地マーケットへ向けたCM制作ニーズに対応すべく、成長が著しいインドネシアにPT.AOI ASIA INDONESIAを、本年9月に設立しました。

この結果、平成23年5月16日に開示した平成24年3月期の業績予想(前回予想)に対し、第2四半期連結累計期間においては、売上高は前回予想を上回る見込みです。一方、利益面では、比較的制作原価率の高い映像作品やアプリの売上増加、本社移転等の効率的オフィス環境整備に伴う一時的費用や上記のような新規事業開発に伴う先行的費用の支出に加え、本年4月1日に子会社化した株式会社パーゴルフが、震災の影響による雑誌売上、広告売上の一時的な落ち込み等により赤字を計上したこと等から、前回予想を下回る見込みです。

続く第3・第4四半期においては、足元の好調な売上状況が維持されると見込まれるとともに、上記のとおり第2四半期より子会社化した2社が期を通じて連結されること等から、通期業績については、売上、利益ともに前回予想を上回る見込みです。

#### (2) 個別業績予想

平成23年5月16日に開示した平成24年3月期の業績予想(前回予想)に対し、第2四半期累計期間においては、営業体制強化の取り組みの継続等により、売上高は前回予想を上回る見込みです。一方、利益面では、比較的制作原価率の高い映像作品やアプリの売上増加、上記の費用支出が主に当社で発生していること等から、前回予想を下回る見込みです。

続く第3・第4四半期においては、足元の好調な売上状況が維持されると見込まれること等から、通期業績については、売上、利益ともに前回予想を上回る見込みです。

なお、配当につきましては、平成23年5月16日付で公表のとおり、1株当たり年間20円(中間期7円、期末13円)とする予定であります。

(注) 上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上